

昨日は大縄大会。予備日を取っていたが、雪のため運動場を使える見通しが立たず、体育館で行うことになった。今年の行事は、天候に恵まれないが、そのおかげで、知恵を出し工夫することができた▼どの班もとても上手になった。最後のあいさつでは、①回す子が上手になったこと②連続跳びができるようになった子が増えたこと③そっと後ろから押してくれる子がいること④学級でも大縄の練習に取り組んだことをその原因として子どもに話した▼当初時間が足りないかもしれないと危惧していたが、体育館という限られたスペースが功を奏して、移動時間等の隙間の時間が短縮された。新幹線のダイヤ作成のように、一つ一つの隙間の短縮が、大きな時間的ゆとりを生み出す▼そのゆとりの時間を活用して、大縄大会第2部、学年対抗戦を行うことになった。目的は3つ。①各学年の練習の成果、集団の力を発揮する場として②縄を回していた高学年が学級に戻れば、跳べる子になる③何が起こるかたのしみ▼多くの学年が今回、新記録を出したと聞いた。そして、あらためて各学年の素敵なまとめを見せてもらうことができた。なにより、6年生が1番でよかった▼5年生には、火がついた。元気な3・4年生は6年生を越えられるかもという自信を持ったにちがいない▼2部構成の大縄大会。縦割り集団と学級集団。縄のような集団の強さが見えた。